

巻 頭 言



北海道支部長
新屋 保 則

立春も過ぎ、日増しにすっかり春めいて来た今日この頃ですが、会員の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

昨年 11 月に新型コロナウイルスの変異種オミクロン株が南アフリカで確認され、それが瞬く間に世界中に感染拡大しております。

日本では、大阪において最初のオミクロン患者が発見されて以来、北海道でも連日千名を超える方々がオミクロン株に感染しているとの報道があり、楽しみにしていた札幌雪祭りも二年続けて中止になりました。

三度目のワクチン接種も始まり、また最近は飲み薬も開発されたようなので、今年こそは終息して欲しいと願うのは私一人でしょうか。

新型コロナウイルスが流行してから早三年目の年に入りますが、その間、日本 ALS 協会本部や北海道支部が企画した行事の多くがことごとく中止やオンライン会議システムによる会議に変更になり、会員の皆様に多大なご迷惑をおかけして大変申し訳なく存じます。

特に支部総会は二年続けて書面開催（2021 年の講演・交流会はオンラインで開催）となり、また、相談、交流会の「絆サロン」も三回ほど会場が閉館になり中止せざるを得ない状況になりました。

そのために相談者の来場は例年になく少数でしたが、道北地方にお住まいの方の相談が令和 3 年には 4 件ほどあったと報告を受けました。市町村の福祉担当者の方が、ALS という病気について熟知され、一生懸命取り組み、ご対応していただけると患者の方も救われます。（ただ、対応してくれる事業所が少ないのも現実です。）

本部においても「地域格差解消に向けた取り組み」を実施していますが、医療および福祉を含めて地方でも安心して暮らせるような世の中にならんことを願うばかりです。

令和4年1月23日(日)今年初めての運営委員会も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ZOOMによるオンラインで開催し、今年度の行事予定を決定しました。

支部総会の詳細は5月に発行する絆でご案内させていただきます。

本誌面の「事務局だより」でもお知らせしていますが、今年の絆サロンは3月から12月までの第2木曜日、例年どおり開催しますので、是非ご参加いただきたいと思います。日々の療養上の問題や悩みをご相談ください。解決できるヒントがあるかもしれません。

(8月は会場閉館のためお休みします。)

病名の告知から22年・・・

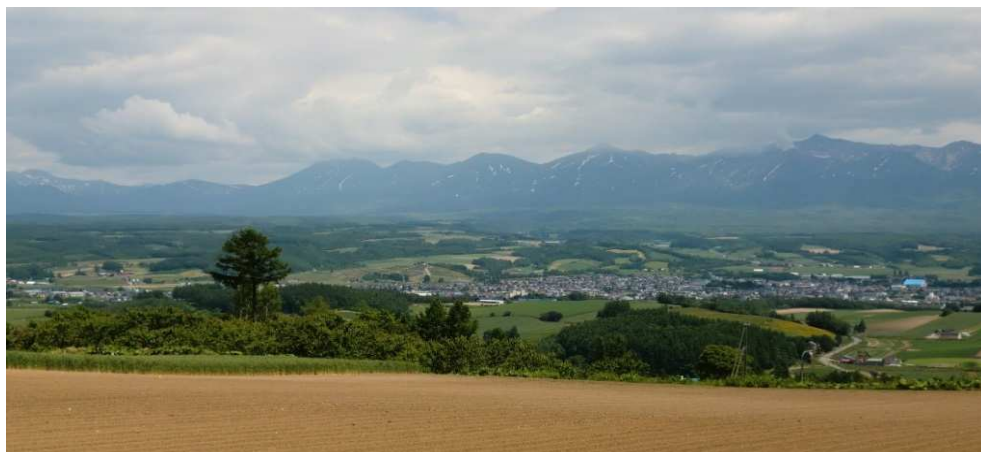
ラベンダーで有名な上富良野町に在住の私は月に一度、他の病気の受診も含めてバスで札幌の病院まで出向いております。

片道3時間半。一日仕事です。

以前にもお話させていただきましたが、私は病状があまり進行しない稀なALS患者で、まだ一人で行動することが可能なことに感謝するだけです。ただ指を使う作業が大変になってきています。

例えば携帯電話の操作や文字を書くとか・・・パソコンも苦手です。

告知された22年前当時を思い起こすと情緒不安定な自分がございます。先が見えず悶々とした毎日でしたが、色々な機会に様々な患者さんとお会いし、病気に対しての向かい方を教えていただきました。それが支部活動を始めるキッカケとなりました。



千望峠からの十勝岳連峰

今年も役員一同、一丸となって、患者・家族の方の支えになれるよう支部活動に取り組んで参りますので、皆様の一層のご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

どうぞ、会員の皆様には北海道支部活動にご意見等がございましたら何なりとお申し付けください。

皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。